

## 有志山行報告

日時：2016年8月27日（土）

天候：雨

場所：横岳・赤岳（八ヶ岳連峰）

行程：横岳登山口（杣添尾根登山口）5:45 — 6:22 東屋 6:32 — 8:19 中間点 8:25  
— 10:16 展望地 10:35 — 10:49 三叉峰 10:50 — 11:02 無名峰 11:05 — 11:12  
奥ノ院（山頂標） 11:15 — 11:40 展望地 11:55 — 14:50 東屋 15:15 — 15:50 登  
山口

参加メンバー（敬称略）：奥村（L）、宿輪、山下、土田、奥島、生田目

短観：八ヶ岳は最高峰の赤岳でも充分日帰りが可能な山だ。但し普通は美濃戸側の小屋に前泊しての日帰り。この前泊を端折ったプランであったが・・・やはり“この指とまれ♪”で参加者を募るようなプランではなかったようである。今後この手の山行はこれまで通りソロでやる事としたい。当日の天候は雨。バックアップの瑞牆山と多少迷ったが、どっちに行っても天候は同じとみて当初のプランを決行した。ほぼプラン通りの5:45に杣添登山口を出発し三叉峰まで標高差1000mの急登に挑む。シラビソ林は樹冠が薄く、時折り本降りになる雨から完全に守られる訳ではない。レインウェアを着ると暑く、おまけに強行軍とあって生田目さんの調子が上がらない。時間超過の為横岳まで切り上げる事とした。残念ながら天気が好転する見込みも無い。森林限界を超えると展望が広がる。ガスが抜けると赤岳は間近だ。そして目の前には急角度でそびえる三叉峰。この展望地で生田目さんはギブアップを申告し、ザックをデポして残りのメンバーで山頂をピストンする事とした。展望地に戻って手早く昼食をとり、雨であちこちに水たまりが出来た往路を戻った。途中何名か転倒したが、大きな怪我は無く東屋まで戻りコーヒーを淹れて少し暖を取った。帰りには甲斐大泉駅そばの『パノラマの湯』で汗を流し、家路についた。同乗のメンバーを送り全行程無事故で終了。生田目車の方も無事帰宅との連絡があった。すべてに於いてハードな一日になりました。参加者の皆様、たいへんお疲れ様でした。まずは無事故で終わられて何よりです。赤岳は是非いつの日かリベンジして下さい！

文責：奥村（L）